

患者向け説明書: B 型肝炎予防接種 この説明書は、B 型肝炎ワクチン接種を受ける方に必要な情報をまとめたものです。接種前に必ずご確認ください。

B 型肝炎とは

- **原因:** B 型肝炎ウイルス (HBV) による感染症。
- **感染経路:** 血液や体液を介して感染します (輸血、注射器の共用、性的接触、母子感染など)。
- **症状:** 急性肝炎では発熱、倦怠感、黄疸など。慢性化すると肝硬変や肝がんに進展することがあります。
- **リスク:** 乳幼児期に感染するとウイルス排除が難しく、キャリア化しやすいです。

ワクチンの特徴

- **種類:** 組み替え沈降 B 型肝炎ワクチン (酵母由来)。
- **接種回数:** 渡航用の B 型肝炎ワクチンは通常初回、4 週間後、6 ヶ月後の 3 回接種です。
- **安全性:** 世界的に長年使用されており、安全性が高いワクチンです。

副反応について

- **局所反応:** 注射部位の発赤、腫れ、しこり、痛み。
- **全身反応:** 発熱、刺激に敏感になるなど。
- **重篤な副反応:** まれですが、高熱や強い体調変化がある場合はすぐに医師へ相談してください。

接種が推奨される方

- 乳児 (定期接種対象)。
- 医療従事者や血液に触れる可能性のある職業の方。
- 海外渡航者 (特に流行地域へ行く方)。
- B 型肝炎ウイルスキャリアの家族と同居している方。

接種前の注意

- 健康状態を医師に伝えてください。発熱や体調不良がある場合は延期することがあります。
- 妊娠中・授乳中の方は必ず医師に相談してください。
- 他のワクチン接種との間隔についても確認が必要です。

接種後の注意

- 接種当日は激しい運動や飲酒を控えてください。
- 注射部位を清潔に保ち、異常があればすぐに医師へ相談してください。
- 高熱や強い倦怠感が続く場合は医療機関を受診してください。

まとめ

B 型肝炎は **慢性化すると肝硬変や肝がんに進展する可能性がある重大な感染症**です。ワクチンは安全性が高く、長期的な免疫を得るために **3 回の接種が必要です**。乳児期からの定期接種に加え、医療従事者や渡航者などリスクの高い方にも強く推奨されます。この説明書は一般的な情報です。**詳細は必ず医師・医療機関にご相談ください。**

副反応確認のため、接種後 20 分間体調確認をさせていただきます。

帰宅後、体調の変化などがございましたら下記にお問い合わせ下さい。

秋田赤十字病院 電話 018-829-5000(代表)

平日(8:30-16:30)は予防接種センターでの対応、それ以外の時間帯は救急外来での対応となります。